

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	アージ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：アージ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

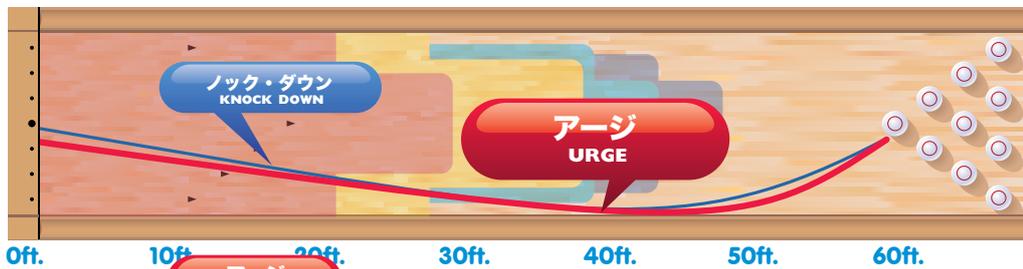
**比較対照ボール：ノックダウン**

フレアーの幅  インチ

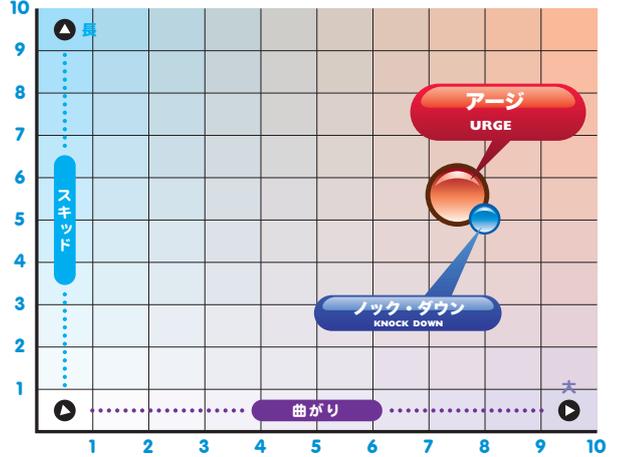
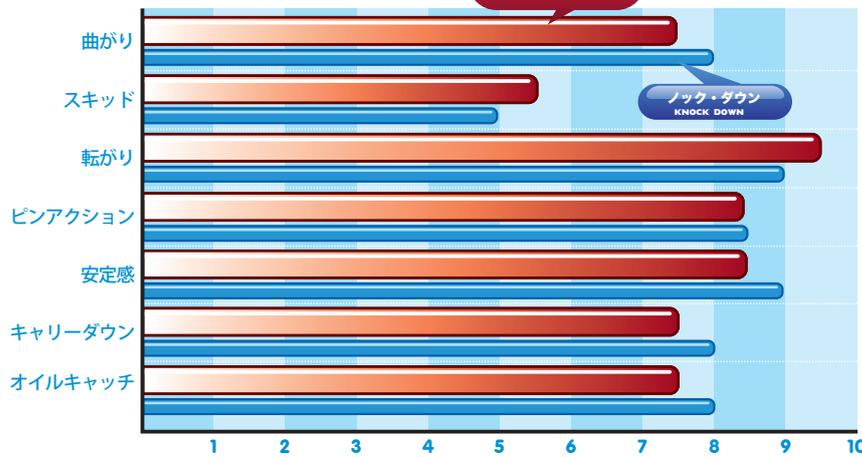
PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

**ボールの評価**

コロンビア社はPerformance領域とReaction特性を一目でわかりやすくするために、Performance領域の4種にし、Green Line、Yellow Line、Orange Line、Red Lineに分けるようになりました。そしてReaction特性も4種に大別し、今回のURGEは一番Angularな表記に属しています。ですので、“Orange Line”(Upper Mid performance)でSkid Flipという性能であることを読み取ることができます。Coverstockはコロンビアで強さのあるCover StockにPearl ReactiveをブレンドしたAR350 Hybrid Cover Stock、Core形状は新開発のIronman Coreです。

私たちABSボール開発チームはURGEが出来上がるまでに相互の意見を出し合い、さまざまなテストを行ってきました。その中で最も重要視すべき点はMid LaneでのキャッチとBackendの動きのバランスでした。Solid Reactiveだとキャッチは出せるが奥の鋭さに物足りなさを感じ、Preal素材のCover Stockだとオイルに左右されやすくなる。このURGEはOrange Lineの発売は決まっていたので、見出されたのがAR350 Hybrid Cover Stockでした。バックエンドまで動力を残すスキッド力と大きくネジレを発生させる新開発のIronman Coreはドライゾーンで急激なブレーキがかかり、向きの変わり方の強さを感じて頂けると思います。私がテストをした結果だと、箱出しのボックスフィニッシュよりやや軽く光沢を消した方が私には使いやすさと曲りを感じることができました。スピードが速めの方や回転数がやや少なめの方は私と同じやや軽く光沢を消して投球すると気持ち良い曲りを得ることができるでしょう。

**特記事項**

**新しいカテゴリー“Orange Line”のURGE。AR350 Hybrid Cover StockのMid Laneキャッチとバックエンドが特徴的なボールです。**